

2024年10月20日（日）第二礼拝「仮庵の祭り」レビ記23章34～36節

仮庵の祭りはヘブル語でスコットです。ヤコブが叔父ラバンの家から夜逃げし、自分の父の家に帰る途中、スコテに臨時の小屋を作ったことが起源です(創世記33:17)。

第一番目、スコットの意味です。スコットは、全てのことが臨時だと教えています。枝や草で作られた小屋は空や星が見え、立派な建物ではありません。これは、私たちの人生が父の家に帰るための臨時の旅路だということを教えています。七日間の祭りは、地球の時間が七日間だという意味です。アダムからアブラハムまでが二千年、アブラハムからイエス様までが二千年、イエス様から現在までが二千年、合計六千年です。一日は千年ですので、六日間は六千年です。この六千年の終わり頃にイエス様は空中再臨され、花嫁たちを空中で集められます。そして、イエス様の地上再臨の時にサタンが底知れぬ所に閉じ込められ、その後七日目の千年王国となります。「狼が子羊とともに宿り…乳飲み子はコブラの穴の上で戯れ…これらは害をくわえず、そこなわない。主を知ることが、海をおおう水のように、地を満たすからである。」(イザヤ11:6～9) 千年王国では、主の愛が地球全体に行き届いて満ち溢れます。この千年王国の終わりにサタンは解き放たれ、人々を誘惑することになります。

第二番目、千年王国の王になることです。王になる人たちは主のために多く用いられた人たちです。殉教者や獣と獣の像を拝まない人たちが生き返り、王となります(黙示録20:4)。

ある身分の高い人が十人のしもべに十ミナを預けました(ルカ19:12～)。彼が王位を受けて帰ってきた時、その一ミナを商売して十ミナを儲けた者や五ミナを儲けた者がいました。一方、主人に対して悪い思いを抱いていた者はその一ミナを土の中に隠しました。このミナとは賜物です。私たちが神様から頂いた一ミナを使って祈る時、知恵のことば、知識のことば、信仰、癒し、奇蹟、預言、霊を見分ける力、異言を解き明かす力、教える賜物、施す賜物など、様々な賜物が増えていきます。逆に賜物を使わないならば消えてしまいます。無くした後に取り戻そうとするなら、かなりの時間を要し、深い悔い改めが必要となります。

また、私たちはこれらの賜物を用いて伝道します。その伝道の実はずぐに見られないこともあります。オーストラリアのシドニーのジョージという町で福音のチラシと三つの言葉を使って伝道する方がいました。「失礼します。あなたは救われましたか？今日死んだら天国に行けますか？」と言って四十年間伝道しました。しかし、救いが起こらず、四十年間の伝道は無駄だったのかと絶望していた時に、彼の三つの言葉を聞いた多くの人たちが救われたという証が彼の元に届きました。彼は感動して涙を流し、その二週間後昇天されました。

第三番目、八日目の大きな安息です。千年王国が終わり、人々を惑わしたサタンが火の海の中に投げ込まれ、新しい天と新しい地となります。「また私は、新しい天と新しい地とを見た。…彼らの目の涙をすっかりぬぐい取ってくださる。死もなく、悲しみ、叫び、苦しみもない。なぜなら、以前のものが、もはや過ぎ去ったからである。…」(黙示録21:1～5) 私たちは父の家、つまり神様の国で永遠に住むことになるのです。アーメン！